



社協だより

第100号

社協基本理念：「地域のつながりで築く 安心・幸せのまちづくり」

皆さまに支えられて
社協だよりが100号を迎えました!!



やわたし社協だよりは、平成元年の創刊号から数えて100回目の発行となりました。年に4回の発行ですが、八幡市にお住いの皆様方にこの紙面を通して、社会福祉協議会の活動や地域福祉に関する情報を提供させていただきました。

この間、市民の皆様には多大なご協力とご支援をいただき、本当にありがとうございました。

これからも市民の皆様方とともに地域福祉の推進に努め、これまで以上に愛される広報紙作りに心がけて参りますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 八幡市社会福祉協議会



「みんなで創る福祉のつどい」を開催しました

3月8日(土)に「みんなで創る福祉のつどい」を八幡市役所前広場と八幡市文化センターロビー、小ホールで開催しました。当日は、晴天には恵まれたものの、寒冷の中での開催となりました。

スポーツ少年団八幡バトンクラブのみなさんのバトン演技で始まり、広場では、ボランティアの皆さんによる模擬店や木工体験、車いす体験、ナインボール、ペンシルバルーン、もちつき、フリーマーケットなどでにぎわいました。

八幡市文化センターのロビーでは、ボランティアグループによる体験教室、展示室では、障がい者のとびつきり作品展、4階小ホールでは、ステージ発表で盛り上がりました。

このつどいは、市民の皆様がボランティアや福祉関係者との交流を通して福祉活動に親しみをもってもらい、地域福祉の推進を願い開催しています。

「ボランティアフェスティバル」から「みんなで創る福祉のつどい」に名称を改めて、今年で5回目の開催となりました。今後、ますます、市民の皆様に心待ちにいただけるようなイベントとなり、多くの方々へ福祉への関心の輪が広がることを願っています。

結びに、イベントにご参加いただきました市民の皆様及び開催にご尽力をいただきました関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。

実行委員長 田野 照子



車いす体験コーナー



展示室



フリーマーケット



遊びコーナー



もちつきコーナー



ナインボール

住民による見守り活動始まる

4月20日、第五区(川口地区)で地域の高齢者や障がいを持つ方々を見守る「第五区見守り隊」(品田隊長)の活動開始式が開催されました。式典には、来賓として堀口市長、上原自治連合会会長、和多田社会福祉協議会会長、井上八幡警察署生活安全課長の出席のもと、同隊員約50名が参加しました。



式典で、鈴木副隊長は「平成24年に地域内でおきた孤独死という痛ましい事件を教訓に、地域に暮す人々が安全で安心して過すためには、地域住民がお互いに見守り合うことが大切である。」と話し、自治会や福祉委員会、民生児童委員協議会、老人クラブ、自主防災隊などが協力し、1年前から、見守り隊の発足に向けて取り組みを始めた経緯を説明されました。

式典後、隊員を対象にした講演会が行われました。講師の大谷大学特別研究員の黒澤先生は「住民同士がさりげなく気遣い、困ったときに遠慮なく助け合える地域社会づくりが大切。」と話されました。参加者は、住民による見守りの大切さを再確認し、小学生から高齢者まで見守りの担い手として重要な役割を果たすとの理解を深めました。



今後、社会福祉協議会では、この活動を支援していくとともに、他地域での見守り活動の取り組みを支援していくことにしています。

八寿園
だより

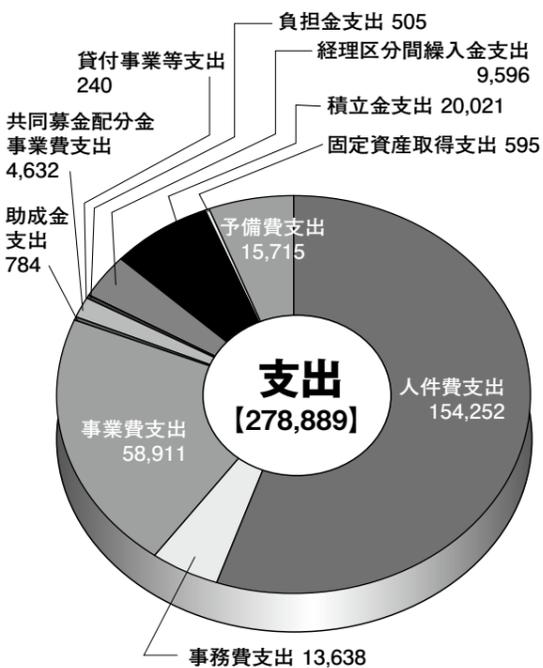
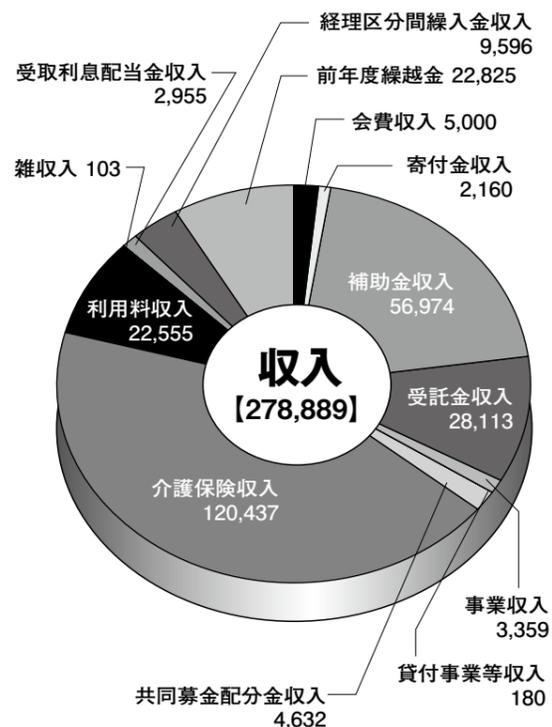
たけのこ掘り

4月15日、八幡市立第三幼稚園の園児が、八幡市立老人憩いの家「八寿園」で利用者の方と一緒に竹林で、恒例のたけのこ掘りを体験しました。今年は、豊作でたくさんのたけのこを見つけては大きな歓声を上げて大喜びをしていました。



平成26年度予算

[単位 千円]



ボランティアに関すること

ボランティア活動センター

ボランティアの養成、研修、啓発、活動機材の貸出、ボランティアグループの育成など、ボランティアに関する相談や活動の支援を行っています。



身近な地域でたすけあい!!

福祉委員会

身近な地域で、地域住民が互いに助け合う、小地域のたすけあい活動を進めています。

現在 くすのき第二、南山小、八小、八幡東、さくら五五、さくら三参、橋本小、くすのき四葉、美豆小校区、中央小(1区地区)で活動展開中。

温かい食事と心のふれあいを届けます

フリーズヤ弁当の配食

高齢者や障がい者との二人暮らしの方に、毎月1回お昼のお弁当をお届けします。

【利用日】 毎月1回
有料 500円(2食)



あなたの身近な相談窓口

ふれあい福祉センター・障がい者生活支援センターやまびこ

家庭のこと、しごとのこと、体や心のこと、福祉情報などお困りごとをご相談ください。



※ふれあい福祉センター ☎983-2000
※障がい者生活支援センターやまびこ ☎972-2880

車いすの人もラクラク外出

リフトカー送迎サービス

車いすを使用されている方等を対象にリフトカーによる送迎を行います。



困ったときはお互いさま

くらしのサポート愛ちゃん

日常生活の中で困りごとがある家庭に対して、会員登録制で家事援助・簡易な介護などのサービスを提供します。



在宅ケアの身近な援助者

訪問介護サービス ガイドヘルパー派遣

早朝、夜間、休日もお年寄りや障害者の日常生活援助をいたします。在宅ケアの援助者…あなたの心身の状態や(ケアマネージャー) 環境、生活歴など考慮しながら持っている力を引き出せるようなケアプランを作ります。

【お問い合わせ先】
ホームヘルパーステーション
☎ 983-1504
FAX 982-2340

認知症対応型通所介護

八寿園デイサービス

家庭的な雰囲気の中でレクリエーションなどを通じて、自分らしくいきいきと楽しい一日を過ごしていただきます。



【お問い合わせ先】
TEL 983-2810
FAX 981-8131

車イスでの外出を応援します

車イスの貸出

ケガや病気などで一時的に車イスが必要な方にお貸しします。

(貸出期間) 3カ月
(保証金) 3,000円
(返却時に返金します)



平成26年度 社協活動の概要

福祉委員会の活動紹介

橋本小学校区福祉委員会

合同サロンが大盛況

校区内で毎月開催している6ヶ所のふれあいサロンが一同に会する「合同サロン」を3月13日橋本公民館ではじめて開催しました。

あいにくの雨降りで、参加者が少ないのではと心配しましたが、開始時間より、ずい分早目に次々と来場されました。「イゼンボーイズ&ガールズ」のバント演奏とコーラスに合わせ、皆で大きな声で歌いました。昼食(お寿司と福祉委員手作りのすまし汁)は、おしゃべりを交えながら和気あたたかいと頂き、食後のビンゴゲームで会場は大いに盛りあがりました。仲間同志も、初対面の方も、また、久しぶりに会った方々も、皆さん笑顔で楽しそうであるという間の3時間でした。広い校区での合同サロンは難しいと案じていましたが、105名もの方に参加して頂き、福祉委員やお手伝いの方も28名集まりました。はじめての催し物でしたが、サロンのあり方に新しい活路を見出したような気がします。



八幡小学校区福祉委員会

悩みや困り事にも対応

新年度に入り、四土会のふれあい喫茶やシネマサロンなど、高齢者の方々を対象とした事業を皮切りに、各種事業の取組みを始めたところです。今年度の事業計画案もほぼ固まったある日、日本の4人に一人が高齢者(65歳以上)との報道がありました。報道に刺激された訳ではありませんが、特に、サロンの取組みでは、これまでのお話し相手だけに止まらず、積極的に悩みや困り事などの聴き手・受け手としても福祉委員が対応するなど、安心して日常生活を営んでいただけるよう各種事業に取組んでいきます。



くすのき四葉福祉委員会

自治会主催の餅つき大会

毎年、年末に自治会主催の、お餅つき大会に“福祉の白”で参加し、お接待や高齢者への配食をしています。

40kgのもち米を蒸すことから始まり、餅つきの軽快な音を聞きながら、雑煮・ぜんざい・大根おろし・あん餅・あべかわ餅に長い行列ができます。皆さん方の顔はほころび、期待にわくわくしていらっしゃるのが伝わってきます。一臼つけば、雑煮ください、大根おろしください、おかわり〜と、大きな声が飛びかいます。15臼つくのは大変な事です。子供達も飛び入りで楽しそうでした。300人余りの人々が参加し、お鍋の中は空っぽ、福祉委員は心もお腹も、いっぱいでした。



各学区福祉委員会では福祉委員(地域のボランティア)を募集しています。
お問い合わせは、社会福祉協議会(☎983-4450)まで。

中学生・高校生の皆さん

この夏、福祉施設で体験学習しませんか？

●体験期間●

7月30日～8月8日までの期間内で連続した3日間(施設によって異なります)

●参加対象者●

中学2年生から高校3年生

●事前説明会●

日時: 7月29日(火) 14:00から
※必ず参加してください。

●各施設の体験内容●

<保育所>

外遊び、水遊び、絵本の読み聞かせなどのお手伝い

<高齢者施設>

話し相手や散歩、レクリエーションの付き添いなどのお手伝い

<障がい者施設>

パン作り、箱折りなどの作業やレクリエーションの付き添いなどのお手伝い

●申込方法●

詳細は6月上旬に各学校を通してお知らせします。学校の手続きに従ってお申込みください。



昨年の体験学習の様子

昨年の参加者の声

☆たいへんなことがあったとしても、楽しいこと、うれしいことの方がたくさんあります。とっても良い体験です！
☆たくさんの方を教えてもらったりできるし、すごくいい経験をさせてもらえる場所です。私も今回経験させていただいたことを自分の将来に役立てたいなと思えたのでぜひ参加してみてください。

ボランティア活動センター

だより

ボランティアグループ紹介

あそぼう会

障がいのある方の休日の余暇を楽しんでもらうため、コーヒーハウスや季節の行事の開催をしています。障がいのあるなしに関わらず、みんなで楽しく活動しています。

◆活動日 主に第1日曜日

◆活動場所 市立福祉会館 ランチルーム

※活動日は、毎月発行のボランティア情報誌「和・わ・輪」でお知らせします。

ご興味のある方は、八幡市社会福祉協議会までご連絡ください。

八幡市傾聴ボランティア「よりそい」

傾聴ボランティア入門講座

傾聴は、人間関係を築くうえで大切なスキルです。傾聴の基礎知識を学び、日常生活やボランティア活動に役立てませんか。

◆日時 6月16日(月) 13:30から16:00まで

◆場所 市立福祉会館

◆内容

○上手な聴き方

○私の傾聴ボランティア活動と第二の人生

〈傾聴ボランティア活動10年の体験を語る〉

◆対象者 傾聴ボランティア活動に関心のある方

◆参加費 無料



ボランティア活動に関するお問い合わせは
八幡市社会福祉協議会ボランティア活動センター(☎983-4450)まで

社会福祉協議会のホームページアドレスが変更になりました。今後も、本会の活動についてより詳細な情報を掲載していきたいと思っておりますので、ぜひ一度ご覧ください。



アドレス

<http://www.yawata-shakyo.or.jp>

福祉サービス利用援助事業のお手伝いを いただける方(生活支援員)を募集しています。

●福祉サービス利用援助事業とは？

高齢の方や知的・精神に障がいのある方などで、判断能力が十分でない方の「福祉サービス利用」や「日常的な金銭管理」を支援するものです。

●生活支援員とは？

利用者のお宅を訪問し、日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、解約の手続きなどの金銭管理をお手伝いしていただきます。

お手伝いは、月1回、2時間程度です。※利用者により、頻度や時間は変わります。

初めて、生活支援員として活動される方を対象に、説明会や研修会を実施しています。



詳しくは

八幡市社会福祉協議会 電話 983-4450 にお問い合わせください。

累 団 団
計 体 体

東日本大震災義援金

ウイングマート大石

ふれあい福祉基金

匿名
匿名

女性団体連絡協議会

匿名

一般寄付

ご寄付をいただいた方々のご厚志を有効に活用させていただきます
(平成26年2月1日～平成26年4月末・敬称略 掲載は受付順)

びびり寄付・びびり贈りありがとうございました

四、二〇二、六七六円
一三、五〇〇円
三五、〇九三円

二〇、四〇八円

二一〇、〇〇〇円
二一、五〇〇円
一〇、〇〇〇円
二一〇、〇〇〇円

「どこに相談したらよいかわからない」「適切な相談機関を紹介してほしい」そんな時にご利用下さい。暮らしの総合相談室です。あなたの身近な相談窓口としてご利用ください。来所される場合は、事前にお電話ください。

ふれあい福祉センター 相談室

夜間・休日も転送電話で
受付をしています。

TEL 983-2000

FAX 983-5798

<http://www.yawata-shakyo.or.jp>

場所 八幡市社会福祉協議会内

